

洗足学園音楽大学管弦楽団

第81回定期演奏会

2021年12月2日(木)

18：30 開演 (18：00 開場)

洗足学園前田ホール

指揮； 秋山 和慶

演奏； 洗足学園音楽大学管弦楽団

主催；洗足学園音楽大学・大学院

本日は洗足学園音楽大学管弦楽団 第81回定期演奏会に御来場いただきましてありがとうございます。

昨年の今頃に秋山和慶先生と今回のプログラムを決めました。その頃は昨年度の後期演奏会を目前に控えており、学生たちはエルガーとブリテンの作品を演奏することに集中している中、私は「4年生が卒業して世代交代するオーケストラが1年後にこんな難曲ばかり演奏できるのか」と不安を抱いたことを覚えております。年度が変わって新しいメンバーへと入れ替わったオーケストラは現田茂夫先生の指揮による前期の演奏会で大変質の高い演奏を聴かせてくれました。前期演奏会のステージリハーサルを聴いていた私は「これなら後期も大丈夫」と、それまで抱いていた不安が確信に変わりました。

私も現役のオーケストラ奏者として日々演奏をしておりますが、オーケストラは自らの主張を発信するだけでは仕事は成り立ちません。たくさんの奏者が奏でている音を聴き、その中で自分の役割、立場を理解することから始まります。そして全員で協力して可能な限り美しい響きを奏でることに全身全霊を注ぎます。もしその技術がそのときの自分になくてもそれを機に表現する技術を身に付ける努力をすれば良いのです。自分の持ち合わせていない素晴らしい感覚を持つ仲間が近くにいる、そしてその仲間と一緒に演奏することができる。こんなに幸せなことはありません。私は演奏するときにいくつかの感謝の気持ちを抱いて公演に臨みます。作品を遺してくれた作曲家への感謝、一緒に演奏する仲間への感謝、そして公演を聴きに來てくださったお客様への感謝です。演奏家は一人では何もできません。学生たちにもいつかこの気持ちがわかる時が来ると思います。

御来場いただきました皆様、この一年間たくさんの練習を積み重ねてきた学生たちの晴れの舞台をどうぞ最後までお楽しみください。

本日は御来場いただきましてありがとうございました。

Program

P.デュカス//交響詩「魔法使いの弟子」

Paul Dukas//The Sorcerer's Apprentice

I.ストラヴィンスキー//

バレエ音楽「火の鳥」組曲（1919年版）

Igor Stravinsky//The Firebird Suite (1919 version)

I 序奏 II 火の鳥の踊り III 火の鳥のヴァリアシオン IV 王女たちのロンド
V 魔王カスチェイの凶悪な踊り VI 子守歌 VII 終曲

休憩

C.サン＝サーンス//交響曲第3番「オルガン付き」Op.78

Camille Saint-Saëns // Symphony No.3 in C Minor Op.78 "Organ"

Organ 原田 真侑

第I部:第1楽章	アダージョーアレグロモデラート ハ長調 Adagio - Allegro moderato C major
第I部:第2楽章	ポコ アダージョ 変ニ長調 Poco adagio D flat major
第II部:第3楽章	アレグロモデラート ハ短調ープレスト ハ長調 Allegro moderato c minor - Presto C major
第II部:第4楽章	マエストーソ ハ長調ーアレグロ ハ長調 Maestoso C major - Allegro C major

△新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございました。

P.デュカス//交響詩「魔法使いの弟子」

Paul Dukas//The Sorcerer's Apprentice

フランスの作曲家、ポール・デュカス(1865-1935)は奇才で名声のある人物であったがかなりの完璧主義者であった為、彼の作品の多くは世に残らないまま自身により処分されてしまっている。

その中でも彼の自信作、代表作でもある曲が1897年に作曲された『魔法使いの弟子(原タイトル「ゲーテのバラードによるスケルツォ」)』である。

師である魔法使いが出かけた隙を見計らい弟子が覚えた魔法を使って掃除を試みるが、終了の呪文をうまく使えずに大混乱が起きてしまう、というストーリーはディズニーのアニメーション映画『ファンタジア』の中で使われた ことでもお馴染みだ。

弦楽器による呪文のような旋律から始まり、ファゴットが動く箒を表す印象的な旋律を奏で物語が進んでいく。それに続いて運ばれる水の表現など、いくつかのモチーフを様々な 楽器が奏でていくことで躍動的で混沌とした世界を生み出し、どこか不安だが心が踊る独特の世界観が作り出されている。

ヴァイオリン3年 早川 萌音

I. ストラヴィンスキー//バレエ音楽「火の鳥」組曲 (1919年版)

Igor Stravinsky//The Firebird Suite (1919 version)

今年没後50年を迎えるロシアの代表的な作曲家イーゴリ・ストラヴィンスキー(1882-1971)。この曲は彼の3大バレエ(本作、ペトルーシュカ、春の祭典)のうち最初に書かれた作品の組曲版であり、彼の名が広く世に知られるきっかけとなった。

1910年のパリでのバレエ版の初演が大成功し、その後1911年にはコンサート用の組曲版が作られた。しかし第一次世界大戦の影響で4管編成での演奏は困難となり、そこで作られたのが2管編成でありながらも演奏効果が高く、今日最も頻繁に演奏される通称「1919年版」である。後に1945年にも新たに組曲版が作られている。

脚本は2つのロシア民話を基に書かれ、伝説の火の鳥を捜す王子イワンが王女ツアレヴナと恋に落ち、魔王カスチェイに囚われていた彼女を火の鳥の力を借りて救い出し、2人は結ばれるハッピーエンドのストーリー。

本作は7曲から成るが通常切れ目なく演奏される。

「序奏」舞台は魔王カスチェイの城、低弦から始まるテーマで不気味な雰囲気漂う。

「火の鳥の踊り」「火の鳥のヴァリアシオン」火の鳥が王子の前に現れる。突如として現れるスピード感のある弦楽器、そして木管楽器の緻密な掛け合いは火の鳥の羽ばたきを想起させる。

「王女たちのロンド」王子が13人の王女のうちの1人(ツアレヴナ)と恋に落ちる場面。フルートの柔らかい高音に導かれたオーボエが愛らしいメロディを奏でる。主題はウクライナの結婚の音楽から引用されている。

「魔王カスチェイの凶悪な踊り」雰囲気は一変し、魔王に捕えられそうになる王子が火の鳥に助けを求め、火の鳥の魔法によって魔王と手下達が踊り狂う場面になる。どの楽器も激しく旋律が動き、恐ろしさも感じるが華やかさも胸高鳴る音楽である。

「子守歌」踊り疲れた魔王たちは火の鳥の子守歌で深い眠りにつく。ファゴットが叙情的なメロディを奏でる。実際のロシアの子守歌のモチーフが使用されている。

「終曲」魔王に支配されていた人々は元に戻り、王子と王女は結ばれ祝福される。「門のところで松の木が揺れる」というロシア民謡の旋律がそのまま用いられる。夜明けのような清々しいホルンソロから次第に盛り上がり、トランペットが率いるオーケストラ全体での華やかなファンファーレで幕を閉じる。

C.サン＝サーンス//交響曲第3番「オルガン付き」Op.78

Camille Saint-Saëns // Symphony No.3 in C Minor Op.78 "Organ"

カミーユ・サン＝サーンス（1835-1921）はフランスを代表する交響曲作家の一人で、「交響曲第3番「オルガン付き」作品78」は51歳の時に書かれた。

通常の交響曲の第1、第2の両楽章を併せて第1楽章とし、同じく第3、第4楽章を併せて第2楽章とする2楽章形式をとっている。

この曲の1番の特徴は副題にもあるようにパイプオルガンを用いていることである。のどかに響きわたるパイプオルガンの和音に続いてオーケストラが優美な旋律を奏でる。

そして第2楽章には4手によるピアノも使われており、曲の持つ華やかな部分をいっそう引き立てている。

またもう1つの特徴として、旋律が少しずつ姿を変えて派生していく「循環主題」の手法を用いて作曲しており、それぞれの楽章の間で主題が色々な場面に登場することで曲全体の統一感を出している。

曲の最後はティンパニの力強い4分音符の後に、パイプオルガンとオーケストラが一体となり、ホール全体に響きわたる輝かしい和音で締めくくる。

打楽器4年 福光 真由

指揮 秋山 和慶 Kazuyoshi Akiyama

齋藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。トロント交響楽団の副指揮者、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキュース響音楽監督を歴任。フィラデルフィア管、ニューヨーク・フィル、ボストン響、クリーヴランド管、シカゴ響、ロイヤル・フィル、NDR北ドイツ放響、ケルンWDR放響、ベルリン放響、スイス・ロマンダ管、チューリッヒ・トーンハレ管などに客演している。

これまでにサントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪府民劇場賞、大阪芸術賞、川崎市文化賞をはじめ、東京交響楽団とともに毎日芸術賞、京都音楽賞大賞、モービル音楽賞などを受賞。

2001年紫綬褒章、2011年旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出。同年中国文化賞(広島)、徳島県表彰特別功労賞を受賞、2015年渡邊暁雄音楽基金特別賞を受賞。2014年指揮者生活50年を迎え、2015年2月には回想録「ところで、きょう指揮したのは？」(共著／アルテスパブリッシング刊)を出版した。

現在、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、日本センチュリー交響楽団ミュージックアドバイザー、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者など多くの任を務めるほか、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。



Member's

洗足学園音楽大学管弦楽団

Concertmaster 松本 志絃音 頼近 友莉奈

Violin	安部 誼美 井上 海燦 小林 真子 三谷 月菜	池原 志穂 宇根 由利子 齋藤 亜花羽 宮崎 莉子	榎本 安杏 梶田 翔允 佐々木 郁子 佐藤 友希乃♪	木村 菜穂 長沢 明日香 島村 佳奈 松岡 野乃花♪	佐藤 クレメンツ アリス しの 早川 萌音★ 鈴木 光菜 鵜田 翔	久本 奈海 勝部 小夏 松村 歩美	篠崎 愛*
Viola	榎本 知香 有山 志音♪	川勝 颯斗 栗原 由樹♪	山下 智史 高橋 楓♪	山本 里真 米倉 海陽	宇津木 遥花	宮島 麻歩★*	
Cello	安藤 葉月♪ 原 美月♪	伊藤 葵♪ 溝端 楓♪	大友 美侑♪	加賀谷 ひなた♪	佐伯 江梨花♪	丹野 陽介♪	
Contrabass	嶋野 晴斗*	伊藤 令華	小泉 聡一郎	稲垣 理有♪	呉 惇禎♪	本田 直也♪	安田 廉♪
Flute	足立 柚寿*	川野 真奈	小林 千夏	清水 涼花	福井 麻菜		
Oboe	佐藤 千尋*	渡邊 悠乃	宮本 菜摘	河村 真歩♪			
Clarinet	石橋 優安	加藤 明日香★	小泉 和世*	齋藤 遙	齋藤 要助		
Fagotto	福原 佑紀	前澤 美里*	塩谷 花笑	上治 唯奏	平川 眞鈴		
Horn	小秋元 歩	後藤 陸歩*	末永 廉	佐藤 俊輝	西川 宗辰	山口 亜希菜	
Trumpet	神山 巧弥 山下 莉奈	清宮 衛介★	澁江 ワタル	居石 まどか	中山 亜実	水谷 樹里	森 猛流*
Trombone	岩井 心	櫻井 美湖	津吹 亮汰*	米村 麻優	小森 豊生	篠塚 裕太	神野 葵
Tuba	石崎 義基*	石田 健悟	吉田 怜生				
Percussion	近藤 花音★*	高橋 芽生	福光 真由	森 奈那子	小野寺 俊介	林 拓海	福本 奏音
Harp	熊倉 実里♪						
Organ	原田 真侑♪						
Piano/Celesta	富樫 桃子♭	西村 ゆき乃♭	山崎 朱音♭				

★…インスペクター *…パートリーダー ♪…演奏補助要員 ♭…賛助

企画運営責任者 松本 健司

指導教員	吉田 行地 吉村 知子 今野 京 吉村 結実 久永 重明 小門脇 賀智志	松村 秀明 渡邊 ゆづき 矢内 陽子 近藤 千花子 安藤 友樹 次田 心平	近藤 薫 安藤 裕子 森 圭吾 石井 淳 神代 修 渡邊 功	鈴木 弘一 井野邊 大輔 吉岡 アカリ 鈴木 一志 林 辰則 井手上 達	中 一乃 大野 かおる 佐藤 亮一 水谷 上総 古田 賢司 幸西 秀彦	長原 幸太 羽川 真介 田渕 哲也 吉田 將 古田 俊博 清水 太	沼田 園子 藤村 俊介 辻 功 勝俣 泰 池上 亘 山田 徹
------	---	--	---	---	--	--	---